

令和6年度 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年	第1学年	学科 種類	普通科
単位数	2単位	教科書	Vision Quest English Logic and Expression I (啓林館)				
副教材	DUAL SCOPE総合英語 (数研出版)、DUAL SCOPE English Grammar in 27 Stages (数研出版)						

学習目標	「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の三つの領域の能力を伸ばすことを目的としています。そのため、「英語の特徴やきまりに関する事項」「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」「言語活動及び言語の働きに関する事項」について学びます。
------	--

キャリア教育の視点	英語を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション力を付けることで、グローバル化が急速に進む国際社会において役立つ力を身に付けます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	Lesson 1 文の種類	クラブ活動をクラスに紹介することができる。	中間 考 査
	5月	Lesson 2 文型と動詞	文化祭についてパートナーと話し合う。	
	6月	Lesson 3 時制	旅行の経験をクラスに話すことができる。	
	7月	Lesson 4 完了形	スポーツや音楽の経験をパートナーに伝えることができる。	
2 学 期	8月	Lesson 5 助動詞	パートナーに将来の夢を語るすることができる。	中間 考 査
	9月	Lesson 6 受動態	買い物について質問したり、答えたりすることができる。	
	10月	Lesson 7 不定詞	贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。	
	11月	Lesson 8 動名詞	スポーツをすることの利点について発表することができる。	
	12月	Lesson 9 分詞	自分自身や生活について発表することができる。	
3 学 期	1月	Lesson 10 関係詞	日本の文化や日本人たちについて発表することができる。	学 年 末 考 査
	2月	Lesson 11 比較	国際問題について自分の考えを示すことができる。	
	3月	Lesson 12 仮定法	日本の社会問題についてクラスに自分の意見を示すことができる。	

学習方法	各レッスンの基本的な文法事項を理解し、例文を繰り返し音読します。また、練習問題を通して、知識の定着を図ります。また、各レッスンのトピックに関連した英文を聞いたりディクテーションを行ったりして、大まかな内容を把握します。分からないところは前後から意味を類推して、英文の概要を聞き取る練習をしていきます。次に、定期考査では自由英作文も出題するので、日頃からある程度の量の英文を書くことに慣れておきましょう。
------	---

評価の仕方	以下の4つの項目から総合的に評価します。 1 定期考査【知識・技能、思考・判断・表現】 2 課題（予習、週末課題、訂正ノートなど）への取組状況【主体的に学習に取り組む態度】 3 小テスト（英単語テストなど）【知識・技能】 4 コミュニケーション活動（Show and Tell、エッセイライティング等）【思考・判断・表現】
-------	---

備考	
----	--